

～ 行動改善を促す指導法から、退職勧奨のための記録整備まで実務で習得 ～

問題社員への効果が出る指導法と諸対応のすべて

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/260415>

【特典:見逃し配信付】

- ◆日 時：2026年04月24日（金） 13:00～16:00
- ◆会 場：WEBセミナー（オンライン開催）
- ◆聴講料：1名につき49,500円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円（税込）
- ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で49,500円（税込））

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師:合同会社ヒューマンパワーリサーチ 代表 森 真一 氏

【講座の趣旨】

あなたの会社に職務怠慢や能力不足、社内での人間関係トラブルなど次々と問題を引き起こすような社員がいる場合、こうした社員に対して最終的には退職を促すことになるかもしれませんが、まずは当人と話し合いコーチングしていくことで業務に対する態度の向上や能力アップを目指すことが必要です。また、実際に退職勧奨を行う際にもそれまでに行った指導の記録を残しておくことが非常に重要です。

本セミナーでは、法律等を踏まえた退職を促す対応を取るよりも前に問題社員を覚醒させるために有効な諸対応、そして退職勧奨をすることになった際に重要になる指導記録についてワークを交えながら平易に解説します。

【プログラム】

1. 問題社員とは何か

- 1-1 問題社員の定義
- 1-2 なぜ問題社員が存在するのか
- 1-3 問題社員への対応

2. 問題社員の代表的な特徴

- 2-1 職務怠慢
- 2-2 著しい能力不足
- 2-3 過剰に権利を主張する
- 2-4 社内の秩序を乱す

3. 問題社員への具体的対応

- 3-1 パワハラ認定を防ぐ
 - (1) パワハラとは
 - (2) 留意すべき内容
- 3-2 記憶より記録(エビデンスを残す)
- 3-3 指示・命令は書面で伝達
- 3-4 仕事発注シートの作成【個人ワーク】

4. 問題社員への個別指導(ティーチングとコーチング)

- 4-1 旧日本海軍の部下指導法「山本五十六元帥の指導法」
- 4-2 褒めて伸ばす(ピグマリオン効果)
- 4-3 重要なのは自己肯定感を高めること
- 4-4 ティーチングとコーチングの違い
- 4-5 コーチングの3つの基本スキル
 - (1) 傾聴力を高める
 - (2) 承認力を高める
 - (3) 質問力を高める
- 4-6 二段階式指導法(ティーチングとコーチングの合わせ技)

5. 問題社員への個別指導後の対応

- 5-1 通常の業務指導
- 5-2 経過観察
- 5-3 自主退職を促す退職勧奨

『問題社員【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社名			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属・役職	E-mail	
①			
②			

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項を記入のうえ、FAXにてお申し込みください。弊社で内容を確認後、受領のご連絡を差し上げます。受講用URLは後日お送りいたします。

なお、お申し込み後のキャンセルは原則として承っておりません。ご都合により出席できない場合は、代理の方にご出席いただくようお願いいたします。代理の方も見つからない場合は、(土日祝日を除く)8日前までにご連絡いただければキャンセルを承ります。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録（無料） Eメール 郵送 ※ご希望の案内方法を選択してください。複数選択可。